

今年度村上昇新学長が就任されました。村上学長は、長年宮崎大学に奉職され、平成23年から二期農学部長を務められました。また、平成27年には脳科学研究における顕著な業績で紫綬褒章を受章されています。

今年度大学案内に掲載されている写真

宮崎国際大学教育学部ニュースレター

宮崎国際大学教育学部の皆さんへ期待すること

宮崎国際大学学長 村上 昇



教育学部の学生の皆さん、こんにちは。皆さんの多くは小学校教諭あるいは幼稚園教諭・保育士を目指していると思います。私はおよそ35年間、大学教師として教育に携わってきましたが、大学生に対する教育と乳児、幼児（1～6歳）、あるいは学童（6～12歳）に対する教育では、その意味合い（教育的役割や意義）が全く異なる

り、私の経験はあまり参考になりません。そこで、私が研究題材にしていた脳の研究をもとにして、皆さんへ期待することを書くことに致しました。私の意図が上手く伝わってくればいいなあ～と思っています。

幼児や学童の性格形成や、様々な能力の獲得に対する、教諭の影響は極めて大きいことが知られています。幼児の脳は活性化の初期段階であり、学童の脳はある程度固定化される段階にあります。「12歳までは脳の成長、それ以降は体の成長」とよく言われます。脳の成長とは、食した栄養分の多くがひたすら脳を発達させるために使われ、一方で、体の成長とは、栄養分の多くが筋肉や骨などの成長に使われることを言います。ちなみに、人間の脳は3歳までに80%、6歳までに90%、12歳までに100%完成します。そのため、脳の発達段階にある幼児や学童に接する皆さんの影響は計り知れないと思います。

例えば、ハーバード大学児童発達研究所前所長のジャック・ションコフ氏によると、幼児期の脳の神経回路の形成（シナプス結合を活性化させる）を促す最も効果的な方法が、大人との愛情ある交流と言っています。しばしば、しつけと愛情のどちらを優先させるか？が問題になりますが、その答えは間違いなく愛情です。しつけは、人間らしさを作る「前頭連合野や前頭野」に対し、洗脳していることとさほど違いありませんし、犬のしつけと大差がありません。もし、幼児・学童のしつけを重視するのであれば、犬のしつけと同様に、しつけができた時には、心から褒めることを忘れてはいけません。心から褒めれば、その愛情がしつけ以上に脳へよい作用をするからです。

実は愛情の次に重要なものは何か、と問われたら、自

由と答えます。なぜなら、子どもは好きなものを使い、脳をフルに活用しながら知識や想像力を深めることができます。この自由が、後の発想、想像力、興味などにつながり、脳のシナプス形成を促進すると言われているからです。

ところで、2000年にノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学教授のジェームズ・ヘックマン氏は、「5歳までの教育が、人の一生を左右する」と言っています（『日経ビジネス』のインタビュー、ネットで見られると思います）。さらに、別の雑誌で、彼は「子どもへの投資は将来の担保への投資である、例えば幼児期に1ドルを投資した場合、その子が成人した際に社会に還元される額は7ドルになる。つまり7倍にもなって返ってくる」と言っています。これが経済学者から見た推測ですが、その考えを少し、違った見方をすれば、子どもの教育は、国の繁栄を左右すると言うことができます。つまり、皆さんの教育者としての役割こそが、国の繁栄の是非を決めることになりかねないのです。私が、皆さんに期待することは、愛情と自由を思う存分子どもたちに与えて、国の繁栄を保証できる教育をしてくださいということです。

幼児や学童の神経回路は未熟で、幾らでも回路を修正したり、新たな回路を作り出せたりします。この神経回路は、まさにコンピュータの回路と同じで、この回路が将来的に結晶性知能や流動性知能の獲得に必要となります。想像してみてください。あなたは、「はんだごて」を手にして、一人一人の幼児や学童の脳の神経回路をつなぎ合わせたり、新しい回路を付け替えたりしている自分の姿を。つまり、あなたたちが、幼児や学童の将来の能力や性格の基盤を作る役割を果たすのです。

目次

学長巻頭言	1
卒業した先輩からのメッセージ	2
宮崎国際大学で主体的に学ぶ	2
教員採用試験対策講座 学外講師にインタビュー	3
学生教職支援センターより	3
レインボースクール学習支援について	4
入試広報部からのお知らせ	4



宮崎国際大学マスコットキャラクター ミック

卒業した先輩からのメッセージ

小学校の現状と後輩へ伝えたいこと

延岡市立延岡東小学校教諭 黒木 美帆
(令和3年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は、4月から延岡東小学校の2年生の学級担任をしています。小学校では、新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止になっています。また、給食の時間もワイワイ話ができず、前を向いて無言で食べる日々です。このような状況ですが、子どもたちは毎日笑顔で元気に登校しています。

2年生になって2か月が経ちました。少しずつ落ち着きも出てきて、学級にも慣れてきたようです。これから子どもたちがどのように成長していくのかが楽しみです。

私は、子どもたちとの上手な接し方や授業の進め方、学級事務等の処理方法など分からないことがたくさんありますが、毎日が私の学びとなっています。管理職をはじめ多くの先生方から教えていただいたことを参考にさせていただき、日々努力しているところです。

後輩の皆さん、大学時代に多くの先生方に相談する習慣を身に付け、積極的に先生方から学んでください。また、友人からもたくさん学んでください。そして、将来教員になった後のことを想像し、教員に必要なことを日々の授業を通して身に付けてほしいと思います。

大学時代に戻れるとしたら

都城市立山田中央保育所保育教諭 岩本 夏実
(令和3年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は今、保育所で0歳児と1歳児の担任をしています。学生時代に、実習や認定こども園の土曜日預かり保育のアルバイトなどで、子どもたちと多く触れ合ってきましたが、いざ担任になってみると、まだまだ力不足だなと感じます。

私がもし大学時代に戻れるとしたら、手遊びと弾き歌いのレパートリーを増やすこと、月案や週案などの文書の書き方を身に付けることの2つにもっと力を注ぎたいと思います。手遊びと弾き歌いは、多くの場面で必要になります。たくさんの種類を即興でできるようにしておく自分の強みになると思います。また、現場では様々な文書を書くことが多いです。私は今でも主任や所長に指導して頂きながら、学んでいます。園によって書き方は異なると思いますが、基本的なことを深く学んでおくと、書く力が身に付くと思います。

時間に余裕がある大学生のうちにたくさんのことを身に付け、現場で生かしてほしいと思います。

宮崎国際大学で主体的に学ぶ

道を切り拓く1年に

教育学部4年 森川 友梨奈
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)



私は3年間、様々なことに真剣に取り組みました。今、教育学部4年生は教員採用試験や公務員試験などそれぞれの道に向かって必死に頑張っています。昨年度はオンライン授業になるなど誰も予測できなかった大学生活でした。そんな中11月には教育実習に行き、子どもたちとの触れ合いを深めるうちに、「教師になる」という意志がこれまで以上に強くなったのを感じました。教員として自信と誇りを持てるようになるために、学生として今すべきことを自分で考え、行動していきたいです。

また、卒業論文では「理科環境デザインによる『資質・能力』の育成を目指した理科授業とその評価」について研究しています。「児童の学びをより充実したものにするために取り入れると効果的なもの」を明らかにすることを目指しています。そして、教員となったときにそれを生かし、学ぶことが楽しいと児童が思えるようにしたいです。

残り僅かな大学生活を楽しみながら、学業に真剣に取り組む、より充実したものにしたいです。

宮崎国際大学に入学して

教育学部1年 横山 勇志
(宮崎日大高等学校出身)



私の将来の夢は、児童一人一人の可能性に気づき、それを伸ばすことができるような先生になることです。そのような先生になるためには、教育に関する専門的な知識を身に付けることが必要不可欠となります。宮崎国際大学にはそれを修得するために必要な環境が整っています。

入学するまで抱いていた不安や悩みは大学生活がスタートしてからすぐに消え去りました。理数教科が苦手な人のために開かれている理数科ゼミや、誰でも好きな時にピアノを練習することができるレッスン室、模擬授業や子どもの前での話し方の練習などを行っている教職サークルなど、自分が望めばいくらでも学ぶことができます。先生方の熱意がよく感じられ、質問に行けばわかるようになるまで丁寧に教えてくださいます。

これからの4年間は自分の夢を実現するために最も重要な期間となります。自分のやるべきことを自覚し、日々邁進していきたいと思っています。

学生企画

教員採用試験対策講座学外講師の先生にインタビューしました！

教員採用試験対策講座学外講師である金丸光臣先生、右松照央先生に3年生3名がインタビューしました。

学生に付けてほしい力は何ですか

右松先生:教師を目指すのであれば、どんな教師になりたいのかという教師像を描く努力をしてほしいと思います。「子どもに対する愛情と情熱・使命感」が土台となり、絶えず「学び続ける姿勢」をもって「高い専門性」、「幅広い社会性、倫理観、豊かな人間性」「マネジメント力」を身に付けていく努力をしてください。

金丸先生:実践的指導力をつけてほしい。その力を付けるために、「大いに読書をしてほしい」と思います。読書を通して自分を磨くとともに、子どもの可能性を見いだしてやれる眼力を磨いてほしいと思います。

今学生にやっておいてほしいことは何ですか

右松先生:積極的にコミュニケーションをとり、その中で、人の話を聞く力を培ってほしいと思います。「うんうん」という承認、「なるほど」という賞賛、「そうそう」という共感、「あ、そうか」という発見、「え。そうかな」という疑問、「もう一度言ってください」という確認、これらが教師になったときに子どもから慕われ、信頼される土台となります。人とのコミュニケーションを通して話を聞く力を培ってほしいと思います。

金丸先生:「学ぶ」という言葉は「まねる」が由来となっています。山本五十六の有名な言葉にも「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」があります。この言葉からわかるように、やってみせることが基本です。児童はまねて成長するからこそ、興味・関心のあることに目覚め、個性を伸ばすことができます。児童の個性を伸ばすための基盤を作るためにも、やってみせる力をつけ

てほしいと思います。

どのような期待や熱意をもって指導にあたっておられますか

右松先生:「教師には誰にでもなれる。だが優秀な教師には誰でもなれぬ」という言葉があります。私は、皆さんを優秀な教師として学校現場に送り出したいと思っています。

金丸先生:思いはただ1つ「絶対合格しなさいよ！」という思いで指導にあっています。

金丸先生と右松先生にインタビューをして、先生方は、「宮崎国際大学出身の学生は勉強している」「優秀な教師としての資質が育っている」と思ってもらえるように、熱意を持って指導してくださっていると強く感じました。実際に特別対策講座で使用されている資料を見せていただき、教員採用試験の合格を願い、立派な教師になってほしいという思いが伝わってきました。



右松先生にインタビューをしている様子

左から教育学部3年 菊田和真(宮崎県立宮崎北高等学校出身)、清水 舞(宮崎県立宮崎西高等学校出身)、長友響香(宮崎県立宮崎西高等学校出身)

「夢に向かって進む姿」を応援します

学生教職支援センター長 白石 知子



4月から本学の卒業生も社会人としての第一歩を踏み出しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度からいろいろな制限の中で精一杯力を発揮した先輩の姿を在学学生は目の当たりにしました。特に4年生は卒業生の後ろ姿に多くの刺激を受け、早くから教員及び保育士採用試験に向けて取り組んできています。新入学生56名にも早く宮崎国際大学の環境にとけ込み、夢実現を目指してほしいと思います。

学生教職支援センターでは、本年度も感染防止対策徹底の中、学年別に「教員採用試験のための特別対策講座及び二次試験対策講座」を設けています。1・2年次では学習指導要領や各教科等の解説を手元に置き、「教科等」や「教職教養」の基礎・基本を学びます。3年次からは本格的に各教科の専門や幅広い教職教養の問題を解

きながら対策試験や「教育実習前CBT」の準備を行います。また、「4年生の学習法に学ぶ」の時間では、工夫された勉強法を聞き、使用した問題集などの付箋・マーカーペン跡を目の当たりにして、学生たちの緊張感は一気に高まりました。さらに、昨年度から、3・4年生を対象に宮崎県教育委員会主催の「ひなた教師塾」に参加しています。本年度は第2期生として、学習支援や学級経営など幅広い内容の講話・講義・演習に取り組む予定です。「保育者養成実践講座」では、キャリア教育、模擬保育、グループ研究など、実践的課題の解決に向けて、学年を超えて積極的に取り組んでいます。各回の受講を通して学生の力は確実に伸びています。

4年生は教員採用試験に向け、「燃えよ、教員採用試験組」として、互いに支え合い、励まし合ってきました。本番で全員が全力を尽くすことを願っています。

レインボースクール学習支援について

特定非営利活動法人 家庭・青少年教育ネットワーク
理事長 池本 要



私は教職員OBですが、現在、NPO法人を設立し、「経済的困窮家庭の児童学習支援事業～無料学習塾レインボースクール～」を運営しております。

スクールの対象児童は、学習塾を利用していないひとり親家庭等の小学校4年生から6年生で、毎週1回、2時間、学習指導やソーシャルスキルなどの社会性育成指導をしております。指導者（学習支援員）は、大学生及び教職員OBで現在16名の方に登録をいただいておりますが、実は大学生のほとんどが宮崎国際大学教育学部の学生さんです。

子どもたちの中には、「今日は大学生が何人来るの?」と、大学生支援員を待ち望んでおり、学習に意欲的に取り組んでいる姿を見ていると、教職員OBとしてホロリとくるものがあります。

教職を目指している学生の皆さんの“教育実習の場”となり、キャリアアップにつながるような運営を心がけたいと考えておりますので、学生の皆さん方にはこれからも学習支援員として参加下さるとありがたいです。

将来に生きる経験

教育学部3年 落合 祐希
(宮崎県立宮崎大宮高等学校出身)



私は、無料学習塾レインボースクールに支援員として参加しています。主な内容は学習指導です。問題に解答できない時、児童はすぐに問題の答えを知りたいがります。しかし、学習指導においては解答や解法を示すだけではなく、つまづきを見極めた上で理解に繋げる必要があります。そのため、自作のプリントを用いたり、例を示したりしながら指導に当たりました。児童により、習得できた内容や理解度が異なり、それぞれの特性に合わせた支援が大切であると感じています。

また、レインボースクールには、社会性育成指導の側面もあります。私たちは、児童に礼儀作法やマナーの注意することもあります。だからこそ、私たちも自身の立場をわきまえつつ、個人の尊厳を大切に児童に接しています。何気ない関わりの中で、児童の良さや特徴、悩みを捉えて支援できるよう心がけています。

レインボースクールでの活動は、私たち学生にとっても、学び多き場であると感じています。この経験での学びを将来に生かしていきたいと思っています。

入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931

MAIL admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことが出来ない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



週末キャンパス見学会&相談会

大学について知りたい! オープンキャンパスまで待てない! という方のための週末見学会(要予約)です。詳細は本学HPで! ※予約状況によって人数を制限する場合があります。

詳細は
こちらから!



CONTENTS

10:00~12:00

- ◆学部説明
- ◆受験対策講座(任意)
国際教養: 英語面接対策
教育: 小論文対策
- ◆入試相談(任意)

第1回

6/19 土

第2回

9/4 土

第3回

10/2 土

第4回

11/6 土

第5回

12/4 土

第6回

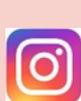
1/22 土

第7回

2/19 土

第8回

3/12 土



YouTube



宮崎国際大学

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931

FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学